

# キャンピズ

# NEWS



Vol. 72

2021年11月号

先日、前回のニュースでお伝えした兵庫県養父市にある「アルトス・ヴィレッジ」キャンプ場を、仲間とともに訪ねました。田んぼの稲はずいぶん実り、彼岸花とのコントラストが鮮やかに映える中、途中、左手に天空の城、竹田城跡を望みつつ車を走らせました。このキャンプ場は、子どもを連れて、あるいは仲間の家族とともによく遊びに行きました。まだ、北近畿豊岡道が開通する前は、一般道を走らせ、結構時間がかかっていましたが、便利になったものです。用事を済ませ、帰り道、舞鶴若狭道から中国道、そして新名神に入りました。パラパラと雨粒が落ちだしたころ、ちょうど車の背後から西日が差ししてきました。すると私たちの目の前に大きなアーチが現れたのです。私は運転しながらなので凝視することはできませんでしたが、助手席のひと回りほど歳の離れた70代の仲間は大はしゃぎです。声がいちオクターブほど上がり、少年のように「わー凄い、感動や、こんなん初めて見た」といって、「にじ」の歌を歌い始めました。お世辞にも「上手い」とは言えませんが、なんだかあったかい気持ちになりました。早くみんなとキャンプに行きたいな。

昨年の2月からキャンプ事業はストップしたままですが、この間みなさまからの励ましの声を多くいただきました。また、たくさんの方からキャンピズに対してご寄付をいただき重ねて感謝いたします。紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。これからは、キャンプ再開に向けて徐々にではありますが、進めてまいります。

代表理事 水流 寛二

## —もくじ—

- p1. 巻頭あいさつ
- p2. 入職・退職の挨拶
- P3. 2021年度キャンプについて、寄付者一覧
- P4. ご寄付のお願い



# 退職のあいさつ



突然のご報告となりますが、この度2017年4月より正職員としてお世話になっておりましたが、2021年7月末をもって退職することになりました。

あまりこのような真面目な文章が苦手なので学生時代からの思い出を振り返れたらと思います。

キャンパスとの出会いは桃山学院大学1年生の授業からのスタートでした。高校生まで帰省や旅行以外、奈良からあまりでない生活を送っていましたが、大学進学で大阪にでることとなり不安が計り知れなく膨れ上がっていました。そんな中たまたま大学行事のキャンプでお世話になった先輩に授業で活動するボランティア先にキャンパスを勧められました。どこで活動するかも何も決まっていなかった身とすれば、せっかく先輩が勧めてくれたのでと断る理由もなく、キャンパスで活動することとなりました。そこから私の大学生活は思い描いていたものと大きく変わったと思います。今となってはもちろんいい意味でですが(笑)

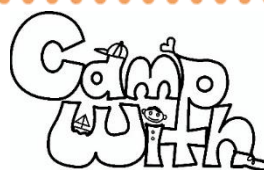
自分で言うのもですが大学入学したてのころまでは、寡黙でおとなしいタイプでした。ほぼ毎週キャンプ生活を送り続け自分でも自覚できるほど自分自身の印象が変わりました。そのおかげで多くの仲間であふれる大学生活を送れたと思います。キャンプではたくさんのキャンパーと寝食を共に過ごし、キャンプで出会う仲間も回を追うごとに増えていきました。「一年生になったら」の歌詞にある“一年生になったら友達100人できるかな”は間違いなく達成できました。

学年が上がってもキャンプ中心の生活を送り卒業まで走り続けました。卒業後は正職員となり、よりキャンプの中心を担うことになり、その中で責任や覚悟など学生とはまた違うものを感じながらキャンプに臨むことができました。多くのキャンパー、学生スタッフ、キャンプに参加するすべての人の大切な体験、思い出作りに貢献できていればとてもうれしく思います。

学生時代から数えると8年間キャンプ中心の生活を送り、多くの出会いと経験を得ることができ、間違いなく私の人生にとって大きな財産になっています。その繋がりを今後も大切に新しいステージでも全力疾走していきたいと思います。長々と書いてしまいましたが最後まで読んでいただきありがとうございます!!

水井 広起

# 入職のあいさつ



はじめまして、梅田純平と申します。2021年10月よりキャンパスの職員としてかわらせていただきます。2015年より理事をさせていただいており、キャンパスの活動をずっと応援していた立場でした。今年度よりキャンパスがより発展していけるように職員という立場から活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

梅田 純平

# 2021年度 キャンプについて

～大切なお知らせ～

皆さまお元気でしょうか？これまでグループキャンプ・ゆったり、10泊、スノーキャンプなどでディレクターを務めておりましたキャンプネーム「社長」こと西川正人です。今年度よりキャンプ事業統括に就任し、キャンプ活動再開に向けた準備を行っております。



まずは皆さまに御礼申し上げます。たくさんのご寄付をいただき誠にありがとうございました。こんなにも多くの方がキャンプ活動の再開を願い、ご支援いただいているという事が非常にうれしく、励みになりました。半面、これだけ多くの皆さまが活動再開を願ってくださっているにもかかわらず、これにお応えできていないことに団体として不甲斐なさを感じております。

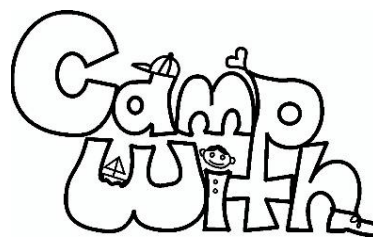
新型コロナウイルス蔓延に伴うキャンプ活動自粛から1年半が経過いたしました。自粛中も再開においてコロナウイルス感染対策講座を実施、若手のキャンプディレクターを中心に活動再開に向けて検討を重ねてまいりましたが、依然活動再開には至っておりません。

これまでキャンピズでは活動再開の動きについてまず、小規模の日帰り企画からと考えておりましたが、コロナウイルスに対する理解の深まりや、ワクチン接種の広がり、今後政府の動きとしても行動制限緩和方針が決定しており、キャンピズとしても日帰り企画実施からの段階的なスタートではなく、宿泊キャンプ実施へと方向転換を考えております。検討を続けてまいりますので活動再開までもうしばらくお待ちください。



西川 正人

# 寄付者一覧



NPO法人キャンピズの活動を応援いただき、ありがとうございます。2021年4月1日～10月15日の間にご寄付いただいたみなさまを掲載させていただきます。

- ・順不同で掲載させていただいております。
- ・ご寄付の際に、ご芳名の掲載を不同意とされた方は掲載しておりません。

山田 逸郎、本田 淳二、辻 高行、鶴田 智大、福川 航一朗、濱 将隆、緒方 怜央、長田 健司、眞浦 かおり、鎌田 英実、澤田 健太、金田 喜弘、加地 英貴、松井 大輔、平野 由果、北川 龍樹、水流 寛二（敬称略）

## ご寄付のお願い

全国各地で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、それでも安心して生活できるように各都道府県では要請が続いています。そのような中でキャンピズができることは何か、「キャンプを再開させること」を検討し少しずつではありますが、動き始めています。

2021年4月よりすでにご寄付のお願いをさせていただきましたが、昨年度のキャンプにかかる事業の無収入の打撃は大きく、活動再開に向けて感染症対策やボランティアへの研修費、事務局運営費など運営資金面において大変困難な状況が続いております。

つきましては、繰り返し申し訳ないのですが、この趣旨をご理解賜り、ご寄付についてご協力を募っております。これまで以上に笑顔あふれるキャンプ活動を継続するためにも、何卒よろしく願いいたします。

### ご寄付概要

#### 【応募期間】

第3回：2021/10/01～2021/11/30

第4回：2021/12/01～2021/12/31

#### 【寄付の種類】

・個人の場合 1口1,000円(何口でも可)

・団体の場合 1口5,000円(何口でも可)

#### 【寄付者特典】

##### 共通特典

・キャンピズNEWSへのお名前掲載  
(希望者のみ、ニックネーム可)

##### ・口数別特典

- ①1口：オリジナル缶バッジ1個
- ②3口：オリジナルフェスタオル&缶バッジ
- ③5口以上：キャンピズTシャツ(NEWカラー)&缶バッジ

※特典の発送は順次発送させていただきます。

#### 【問い合わせ窓口】

キャンピズ寄付金問い合わせ窓口  
特定非営利活動法人キャンピズ事務局  
(就労継続支援B型事業所 ウイズ芦屋内)  
TEL:0797-23-0380  
Mail:ncw1998@campwith.jp

※現在、キャンピズ事務局はコロナ感染症予防対策として一時的にB型作業所ウイズ芦屋内に設置しております。お問い合わせの際はご注意ください。

#### 【ご寄付の方法】

同封の振込用紙にてお振り込み下さい。その際通信欄に以下をご記入ください。

- ①寄付金額及び口数
- ②NEWSへのお名前掲載の有無
- ③ニックネーム(本名の場合は不要)

※振込手数料のご負担をお願いいたします。

※振替用紙控えが領収書となります。